

JCHO可児とうのう病院の「いま」を伝える

2016.8
HATOBUKI
Vol.16

はとぶき

特集

病院と住み慣れた家の架け橋に
地域包括ケア病棟



健康ナビ VOL.5

「骨密度測定」って何?

医療連携室だより VOL.16

加藤整形外科／おかざきまりこクリニック

はとぶきホットライン VOL.15

四季の健膳 一夏ー

白身魚のウニ味噌焼き

はとぶき 第16号 <発行> JCHO可児とうのう病院 〒509-0206 岐阜県可児市土田1221番地5 TEL.0574-25-3113 FAX.0574-25-4657

■ 外来診療担当表 平成28年8月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内 科	総 合	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制
	2 診 (消化器)	渡邊 久倫	清水 達治	印藤 敏彦	清水 達治	印藤 敏彦
	3 診	岩田 敬和	山田 清康			平山 賢志
	4 診 (循環器)	横内 一彦	山田 清康	林 尋之	平岩 宏章	横内 一彦
	5 診 (呼吸器)		13:00~ 林 尋之	近藤 千晶		磯部 好孝
	6 診 (神経内科)	土方 靖浩	小野寺 一成		小池 春樹	横井 聰
	7 診 (血液)	吉田 均	伊藤 貴彦	吉田 均	山本 秀行	
	8 診 (糖尿病・内分泌)	池庭 誠	代 務		高槻 健介	安藤 敏仁
外 科	1 診	金森 淳	太田 俊介	瀬古 浩	太田 俊介	児玉 章朗 (血管外科)
	2 診	池山 隆	大森 健治	大森 健治	池山 隆	10:00~12:00 乳腺外来
	3 診	鈴木 和志	岸田 喜彦	鈴木 和志	直海 晃 (呼吸器外科)	岸田 喜彦
	形成外科(予約制)		2-4週 14:00~ 高成 啓介			
	小児外科(予約制)		14:00~ 岸田 喜彦			
整形外科	1 診	交替制	岡田 貴士	草野 大樹	岡本 喬明	杉浦 洋
	2 診	中野 健二			中野 健二	
	3 診	松本 明之 (脊椎)	岩月 克之 (手外科)	幸島 寛	小早川 知範 (リウマチ)	幸島 寛
	午 後					4週 14:00~16:00 川崎 雅史(股関節)
泌尿器科	1 診	青木 重之	山田 芳彰	青木 重之	原 浩司	山田 芳彰
	2 診	森永 慎吾	原 浩司	中村 小源太		
小児科	1 診	金山 恵子	月館 幸一	月館 幸一	月館 幸一	金山 恵子
	専門外来(午後 予約制)			1週(小児循環器) 長谷川 誠一		2-4週(神経) 大野 敦子
耳鼻咽喉科	1 診	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳
	2 診	櫻井 一生			田邊 陽介	
婦人科	1 診	片山 宣	佐藤 静香	眞鍋 てるみ	藤掛 佳代	片山 宣
皮膚科	1 診					交替制 完全予約制
脳神経外科	1 診			宇田 憲司		
眼科	1 診	加藤 彩	加藤 彩	加藤 彩	(受付10:30まで) 土井 浩史	加藤 彩
緩和ケア心療	午前予約制				奥野 孝代	奥野 孝代

● 外来受付時間 8:30~11:30

● 休診日 土・日・祝日・年末年始

編集
後記

今号の「はとぶきホットライン」は、可児歯科医師会に協力いただき、歯と口腔の健康づくりについて紹介しました。歯や口腔環境の悪化は、体全体の健康に影響を及ぼします。特に入院や入所によって歯科医院に通えず、状態が悪くなってしまうこともありますので、不安があればかかりつけの歯科医院に相談するようにしましょう。また、9月の市民公開講座では、いつでも簡単にできる「お口のK体操」体験を実施します。ぜひご参加ください。

病院から住み慣れた家での生活へ
地域包括ケア病棟

特集

JCHO可児とうのう病院では5つある病棟の1つ、東3病棟を「地域包括ケア病棟」として平成27年9月より運用を始めています。退院後の自宅などでの生活に向け、必要な心身機能の回復を目的とした、急性期と在宅の橋渡し役となる病棟です。



地域包括ケア病棟に携わる皆さん。力を合わせて、在宅復帰に向けたケアをしています

可児市「一流に出会う日」事業

第16回 市民公開講座

主催 JCHO可児とうのう病院

共催 可児市・可児医師会・可児市文化芸術振興財団

後援 可児歯科医師会



講師 祖父江 元 氏

(名古屋大学大学院医学系研究科 特任教授)

定員
1,000名
(全席自由)

入場無料
予約不要

2016 9/10 土

14:00~15:30(開場13:00)

可児市文化創造センター

ala(アーラ)主劇場(宇宙のホール)
■可児市下恵土3433-139

※無料駐車場437台収容 大変込み合いますので皆様での乗り合わせ、または公共交通機関のご利用をお願いいたします。

講演

~地域に密着した病院をめざして~
第16回 市民公開講座

講師

祖父江 元 氏

名古屋大学医学部卒業・医学博士・現名古屋大学大学院医学系研究科神経変性認知症研究部 特任教授および脳とこころの研究センター ディレクター

同時
開催

●「お口のK体操」体験 (講師 可児口腔ケアグループ
「かきくけこ」さん)

時間 / 13:15~13:45 場所 / 主劇場内
講演前に椅子に座りながら参加できる「可児市の簡単な介護予防体操」を実演

●「もの忘れ・困りごと介護相談」 可児市西部地域
包括支援センター

時間 / 13:00~13:45 場所 / 主劇場ホワイエ
介護やもの忘れ(認知症)に関する心配事についてお気軽に相談ください

認
知
症
を
学
ぶ

退院後の生活を見据えて 必要な訓練や準備を援助



在宅復帰を目指し、みな熱心にリハビリに取り組んでいました

住み慣れた自宅へ帰りたい そんな患者の思いを支える

支援を行うのが地域包括ケア病棟の役割といいます。

明や指導から、日常生活動作（食事、排泄、更衣、移動、入浴など）を高めるリハビリまで、充実した自宅での生活の準備をする病棟

です。

社会福祉士の岩野江利さんは「患者さん本人やご家族の希望を聞きながら、たとえば一人でトイレに行ける、などの「ツール」を決めて、それができるようにと、退院後の生活に向けたリハビリを行っていきます。必要に応じてご自宅を訪問して、家具の配置や自宅改修を含めた提案などもします」と退院後の生活を視野に、さまざまなもの役割といいます。

地域包括ケア病棟に携わる

高齢化が進み、自宅生活を続けるための日常的な生活支援を必要とする人が増えてきました。高齢者の医療や介護の需要は、今後さらなる増加が見込まれます。そんななか構築が推進されているのが、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる社会体制「地域包括ケアシステム」で、病院も従来型の医療から、地域で「治し・支える」地域完結型の医療へ転換が求められています。

可児市の高齢化率（平成28年4月1日現在）は25・36%と、市

民の4人に1人が65歳以上です。「独居の方も多いですし、老老介護の世帯も少なくありません。そこで、当院は介護老人保健施設を有するなど、在宅医療にも力を注いできました。さうに急性期医療と在宅医療を結ぶ必要性から、新たに開設したのが、地域包括ケア病棟です」と福井是子看護部長は背景を話します。「以前であれば、病気が回復したら即退院でした。しかし高齢化に伴つて、退院後の日常生活に不安がある方が増えています。自宅などに帰るに当たり、実際の生活ができるよう整えてあげる期間が必要となつていています」

急性期治療が終わったあと、自宅などで生活に向けて準備が必要と思われる患者さんが、一般病棟から主治医と家族の同意のもと、この地域包括ケア病棟へ転棟します。胃ろうの在宅ケア、インシュリンの自己注射などの説



現在入院しているのは80代、90代の後期高齢者が中心です。 「急性期治療を終えていることもあるって、ここに来ると皆さんにとっても元気になられるのには驚かれます」と福井看護部長。

「看護師として患者さんに寄り

職員は看護師26人、看護補助員6人（介護福祉士1人・介護員5人）の計32人。加えてリハビリ関連の理学療法士・作業療法士・退院調整看護師・医療相談員（社会福祉士などの医療ソーシャルワーカー）、管理栄養士、そして各患者さんの主治医と、多職種連携で退院し、自宅などで過ごせるように努めます。

現在入院しているのは80代、90代の後期高齢者が中心です。

「急性期治療を終えていること

もあるって、ここに来ると皆さんにとっても元気になれるのには驚かれます」と福井看護部長。

はと羽キホットライツ

VOL. 15

地域包括ケアに向けた歯科訪問診療 歯と口腔の健康づくりを目指して

口腔の健康が身体全体の健康に与える影響が近年、研究で明らかになりました。そんななか高齢化社会を迎えて、大きな注目を集めているのが「歯科訪問診療」です。なかい歯科（可児市桜ヶ丘4-23）の中井雅人先生に、訪問診療の現状を尋ねました。

歯科訪問診療は、高齢や病気などが理由で通院が難しい人に対して、自宅や病院、介護施設などに歯科医師、歯科衛生士が訪問し、歯科治療や口腔ケアを行うことです。「可児歯科医師会では25年くらい前から訪問診療に取り組んできました。まだ一般にはあまり周知されていません。現状はケアマネージャーからの依頼がほとんどで、入れ歯の不具合を調整することが多いですね」と中井先生は話します。

現在、可児歯科医師会所属の歯科医院の大半が、訪問診療に対応しています。ただ診療時間の合間を縫ったり、休日を当てたりしての訪問のため、近隣で、しかも自身の医院を受診している患者さんや家族に限定しているところもあります。「かかりつけの歯科医院を持つことが大切です。治療履歴もありますので、気軽に相談できます」と中井先生。

高齢者にとって口腔ケアは注意すべきことのひとつです。口腔内の細菌が誤って気管に入り、肺に炎症を引き起こす誤嚥性肺炎（老人性肺炎）の予防に、口腔内を清潔に保つ必要があります。特に自分で歯磨きなどができる要介護者には、介助者への指導も合わせ、訪問診療による口腔ケアの効果が期待できます。

可児歯科医師会では、可児口腔ケアグループの歯科衛生士と連携して、自宅や病院、介護施設などの口腔ケアを実施しています。また、老人保健施設などにおいて、職員を対象とした口腔ケアの講演も行ってきました。保健、医療、福祉の分野で口腔ケアの重要性が広く浸透してきており、今後ますます訪問診療の役割が高まることでしょう。JCHO可児とうのう病院も、9月10日に開催する「市民公開講座」で、「お口のK体操」の体験を実施するなど口腔の健康づくりに力を注いでいます。これまで以上に可児歯科医師会との連携を深め、地域医療への貢献に努めています。



治療に必要な機材一式をコンパクトにまとめ、キャリヤーに積載可能な訪問診療専用治療機器セット。通常の歯科診療とほぼ同等の診療が提供できます。上部に置かれているのは、ポータブルレンタルゲンです。



なかい歯科の中井雅人先生

■歯科訪問診療についての相談・問い合わせ
可児歯科医師会内「地域在宅歯科医療連携室」
電話: 0574-62-7462 FAX: 0574-62-7460
月・水・金曜日 10:00~12:00

添うことは基本ですが、急性期病棟に比べて、この病棟では患者さんとゆっくり接することができ、よりきめ細やかな看護ができるという面があります。それが看護師のやりがいにも繋がっていると思います」と今橋典子看護師長は地域包括ケア病棟を担当するようになって感じたことを話します。

4月に異動してきた金尾貴子副看護師長も、やりがいを感じています。「診療の補助と日常生活の援助とに、看護師の仕事は大きく分けられます。ここでは日常生活の援助という部分がより具体的で細かく、多くの時間を費やします。患者さんが望む

形で自宅に帰れるよう支えていくことが、やりがいにもなっています。ご高齢の方が多いのも特徴で、自分のおじいちゃん、おばあちゃんなどたらどうしてほしいのかを意識しながら、看護を中心がけています」

運用を始めて約1年が経った地域包括ケア病棟。「治療がひと段落したとはいえ、内科、外科、整形外科など各科の患者さんを看るわけですから、オールマイティーな知識が必要です。看護師としての力も高めていかなくてはいけません。スタッフの指導を含めて、まだまだ取り組むべきことは多いです」と今橋看護師長は意欲を見せます。



東3病棟・
金尾貴子副看護師長

社会福祉士・
岩野江利子さん

東3病棟・
今橋典子看護師長

福井是子看護部長

医療連携室だより

VOL.16

JCHO可児とうのう病院医療連携室では、連携している地域のかかりつけ医を紹介しています。今号は、「加藤整形外科」と「おかげまどりこクリニック」を紹介します。

「患者相談窓口」について

医療連携室みどりの窓口では、患者相談窓口を設けています。「医療福祉制度について」や「転院や施設のご案内」、「経済的な問題」など、患者さんの色々な不安や悩みについて、専門スタッフが一緒に考え、患者さんに寄り添った提案やアドバイスをしています。お気軽にご相談ください。

患者相談窓口利用時間
・平日の曜日 8時30分～17時15分



患者さんの健康を守る地域医療の輪

主治医はふたり

地域のかかりつけ医とJCHO可児とうのう病院の医師が連携し合い、ひとりの患者さんに対して共同で継続的な治療を行います。



地域の医療機関 (かかりつけ医)

- 体調不良の際の相談
- 日常的な病気の治療など
- 入院や精密検査が必要な時は、病院へ紹介

JCHO 可児とうのう病院

- 精密検査や手術、専門的な治療が必要な外来・入院診療
- かかりつけ医の紹介状があれば優先的に診療を受けられる
- 退院時の相談、在宅医療、かかりつけ医の紹介、転院先の病院や施設などを紹介



自然食品をはじめ、健康に関するさまざまな情報の発信もしています



おかげまどりこクリニック

住所 多治見市幸町3-6-1

電話 0572-27-1200

診療科 泌尿器科、小児科、皮膚科

おかげまどりこクリニックのみなさん



スタッフ全員で何をお求めているかを考えていました。

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/	
16:00～18:00	○	○	/	○	○	/	/	

P 有

専門は泌尿器科ですが、小児科や皮膚科の患者も多いというおかげまどりこクリニック。岡崎麻理子院長は「専門にこだわらず、病に苦しむ患者さんを、責任もつて診察することを心がけています。もちろん、子どももスタッフの温かく優しい対応はされています」と話します。スタッフが嫌がらず、楽しくお話しできる環境づくりに心がけています。



リハビリテーションは体の使い方の指導と運動療法、痛点対策中心です



加藤整形外科

住所 可児市下恵土919

電話 0574-61-0971

診療科 整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

P 有

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/	
16:00～19:00	○	○	○	○	○	/	/	



できる限り早く患者さんの痛みが和らぐように治療することを心がけています。

「体の痛みのほとんどは、体の使い方の癖や生活習慣などにあるんです」。そう話す加藤整形外科の加藤良一院長の治療は、痛みの原因は何か見つけられることから始まります。問診には特に時間を割き、患者とのコミュニケーションを重視。そのうえで早く治療した後に起きた再発の可能性を少なくする指導まで行います。治療した後に起こりうることは何かを考え、先も見据えた治療をしています。

「骨密度測定」って何？

「あれってどんなふうに治療しているの？」「こんな時どうすればいいの？」など、病院に関わる疑問を解決します。今回は「骨密度測定」について、どんな検査で、どなことがわかるのか、尋ねました。

転倒などにより骨折する危険性が高まる 「骨粗しょう症」の診断に

意外と知られていませんが、骨も皮膚などと同じように新陳代謝を繰り返して、毎日少しづつ生まれ変わっています。骨芽細胞により骨が再生される「骨形成」と、破骨細胞により古い骨が溶かされる「骨吸収」が繰り返される「骨代謝」が行われているのです。

しかし、年齢を重ねると骨芽細胞の働きが弱まり、骨代謝のバランスが崩れ、骨密度が低下していきます。骨密度は単位面積当たりの骨量のことです、骨量が減ると骨はもろくなります。「骨粗しょう症」は骨密度が20～44歳の女性の平均値の70%未満になり、骨折しやすくなった状態を指します。



前腕部での骨密度測定は約1分で完了

圧倒的に多数を占めるのが閉経後の女性です。女性ホルモンの「エストロゲン」が骨形成に深く関わっているからで、エストロゲンの分泌が減少する閉経後、急激に骨密度が低下しがちとなり、それが骨粗しょう症を起こす要因です。60歳代では10人に5人、70歳代以上では10人に7人が骨粗しょう症であるといわれています。

「腰の骨や大腿骨頸部(足の付け根の骨)の骨折は、日常生活に直結してきます。特に転倒などで大腿骨頸部を骨折すると、寝たきりの原因にもなります。悪くなってから、骨折をしてからではなく、日頃から自分の骨密度を把握しておくことは大事なことです」と主任診療放射線技師の猪野敬英さんは呼びかけます。

骨粗しょう症の診断に役立つのが「骨密度測定」です。測定方法はとても簡単で、椅子に腰かけて片手(前腕部)を検査機器に入れるだけ。検査前後の注意もなく、時間も1分ほどで終わります。結果は標準偏差のグラフで表され、黄色(要注意)や赤(骨粗しょう症の可能性)の場合は、病院へ受診して改善を図りましょう。

骨量の減少を早期に発見し、適切な予防や治療を行うためにも、50歳以上の女性は年に1回程度、骨密度測定を受けるのがお勧め。転倒・骨折で要介護にならないよう、骨密度測定はまさに転ばぬ先の杖です。検査の申し込みや費用などの詳細は健康管理センター(0574-25-3115)までお問い合わせください。



主任診療放射線技師の猪野敬英さん

四季の健膳「夏」

調理師が考える健食をご家庭で！



白身魚のウニ味噌焼き

【材料】4人分

カレイ切り身	…80g	4切れ	酒	…5ml	
練りウニ	…40g		みりん	…20ml	
卵黄	…1個分		オクラ	…4本	
塩	…2g		上白糖	…8～10g	

【作り方】

- ① 塩と酒でカレイに下味をつける。
- ② 練りウニに、みりんと酒、卵黄を加え、ケチャップ状の固さになるまでのばす。
- ③ カレイを200℃に設定したオーブンで、10分間素焼きする。
- ④ 焼き上がったカレイに②をかけ、230℃に設定したオーブンで10分程度焼き目をつける。
- ⑤ オクラのへたを取り。ニンジンは8mm程度に輪切りし、花型にする。
- ⑥ オクラとニンジンの下処理が終わったら、出汁と醤油、上白糖で煮る。
- ⑦ 焼き上がったカレイの手前に⑥を彩りよく盛り付けて完成。



調理師の吉川勝さん

暑い日が続き、食欲が落ちる季節。患者さんが「食べたい」と思えるような食事にしたくて、夏らしく明るい色彩になるように意識しました。味付けに練りウニを使うことで、目新しさを演出。料理する側も食べる側も、新鮮な気持ちになってもらえると幸いです。

JCHO可児とうのう病院で提供する病院食は、当院栄養管理室が献立を決定し調理したものです。そのなかで月に一度、郷土料理や季節を取り入れた特別な献立を提供しています。『健康的でおいしく、見た目にも食欲をそそる料理を』と考られたメニューを、ぜひ一度つくつてみてはいかがでしょうか。